

令和7年1月30日

鳥取県知事定例記者会見

令和7年度当初予算案

3,600億円台半ばの規模となる見通し

(参考) R6当初予算：3,605億円

<主な施策の方向性>

日本創生への歩みを鳥取県から始動するため、**若者や女性から選ばれるふるさとの創生**や**大規模災害への対応力強化**、**激動する国際経済環境への対応**などについて積極計上

また、長期化する**物価高への対策**についても切れ目なく対応

<20億円規模の物価高対策>

低所得世帯等への光熱費支援、医療・社会福祉・保育施設、子ども食堂、私立学校、交通事業者等への物価高騰支援
肥料・飼料価格高騰支援、和子牛価格対策 など

<公共事業> 520億円程度 (参考) R6当初比 (災害公共除き) **+2.5%程度**

- ◆ 北条道路 (はわいIC~北条IC (仮称)) のR8年度開通に向けた整備進捗等、はわいICへのアクセス道路整備
- ◆ 地域高規格道路の整備進捗 ※倉吉関金道路、北条倉吉道路 (延伸)、江府道路 など

<財政誘導目標>

未来への投資に向けた予算を積極計上しつつ、健全財政を堅持できる見通し

	財政誘導目標	R7当初時点の見込み
①	令和8年度の財政調整型基金残高 \geq 200億円	200億円以上を確保
②	令和8年度の実質的な県債残高 \leq 3,800億円	3,600億円前半に抑制
③	当初予算編成時点でのプライマリーバランスの黒字化	黒字を達成

令和7年度当初予算案

県内就職・人材確保に向け奨学金支援を抜本的に強化

3億円程度（債務負担行為）

▶ 未来人材奨学金支援事業の対象を全業種に拡大

	特定業種（拡充）	その他業種（新設）
業種	製造業、建設業、保育士、農林水産業など ※私立教員、獣医師、自動車小売業 及び自動車整備士を追加	特定業種以外の全業種 （公務員を除く）
助成率及び限度額	無利子：1/2、有利子：1/4 大学院216万円、大学144万円、 専門学校72万円 等	無利子：1/4、有利子：1/8 大学院108万円、大学72万円、 専門学校36万円 等

▶ 不足する教員確保のため公立学校教員奨学金返還支援を創設

小・中・高・特支対象 ※無利子：1/2、有利子：1/4

※新規・拡充部分はいずれも令和8年度採用分から適用

災害関連死を防ぐため避難所環境を向上

6千万円程度

大規模災害時における良好な避難所環境の早期構築に向け、TKB（トイレ・ベッド等）を24時間以内（国は48時間以内）に避難所へ展開

▶ 避難所環境・体制の強化検討

大規模災害時に速やかに良好な避難所環境を確保するために必要な**人員体制、資機材の保管・運用体制等**を市町村とともに構築

▶ 避難所資機材の整備促進

市町村と連携し、**簡易ベッド・プライバシーシート・炊出し用資機材等**を整備

▶ 「避難所サポーター」の養成

住民と一緒に避難所を開設できる体制を構築

激動する国際経済環境・賃上げへの対応

5千万円程度（融資枠：30億円）

▶ 経済リスク回避のための県内投資支援を強化

国際経済環境の変化に応じ、生産体制の国内シフトや新たな海外受注に関する県内投資に対し、

①「産業未来共創補助金」の補助率を**5%加算** ※通常：10% or 20%

②**特別利率※を適用** ※「新規需要開拓設備資金」の特別利率1.50%～（R7.4予定）

▶ 中小事業者賃上げ応援資金の創設（制度融資30億円）

持続的な賃上げを行う県内中小企業者への**低利※による資金調達**を支援

※利率：1.25%（R7.4予定）

和牛王国とっどりの更なる振興

1億円程度

白鵬85の3亡き後の「和牛王国とっとり」の振興を戦略的に進め、全国にアピール！

▶ スーパー種雄牛の造成

県内雌牛の全頭ゲノム検査の実施により高能力雌牛を漏れなく選抜、畜産試験場へ高能力雌牛を導入し和牛改良を加速化

▶ 畜産試験場のリニューアルへ

採精場等を併設し精液生産作業を効率化した種雄牛棟の新設等（R7-10整備費5億円程度）

▶ 鳥取和牛新ブランド発信

赤身肉の美味しさの指標であるグリコーゲンを多く含んだ本県種雄牛の特性を活かし、**グリコーゲンによる鳥取和牛新ブランド**を立ち上げ

青少年健全育成条例改正案

■ 県政参画電子アンケート（1/20～27）

設問	賛成・やや賛成	反対・やや反対
青少年に対して、闇バイト・オンラインカジノ等犯罪に引き込むインターネット・SNS上の広告や投稿の閲覧・視聴を制限	91.3%	8.0%
オンラインカジノの客としての利用は賭博にあたり、青少年をオンラインカジノに勧誘する行為を禁止	95.8%	3.5%
青少年の顔写真等を使って生成AIにより作成された性的な画像は、児童ポルノと同様のものであり、これを作成し、他人に提供し、又はインターネット上に掲載する行為を禁止	93.5%	4.8%
オンラインカジノ、生成AIにより作成された児童ポルノ等の禁止に違反した場合に罰金などの罰則を科す	92.8%	4.5%
県公式サイトに情報の出所を第三者機関認証で証明する機能（オリジネーター・プロフィール技術）を実装する取組	96.5%	1.3%



**いずれも
9割以上
が賛成**

■ 有識者の意見聴取

県青少年問題協議会(1/10、2/4(予定))、県児童福祉審議会(1/20)において、教育、青少年育成、司法、人権、児童福祉の各分野の委員から、条例改正の方向性について意見を聴取

【主な意見】・禁止や罰金といった**決まりごと**も必要

- ・SNSの**年齢による一律の使用制限**には慎重になるべき
- ・SNS利用は低年齢化しており、**子どもたちへの教育や、保護者の意識の向上**が急務
- ・**シグナルやテレグラム**というキーワードを子どもたちが知っていれば、いざという時に危険に気づけるのでは

■ 国へ要望（1/21子ども家庭庁 友納政務官）

- 子どもたちの犯罪被害を未然に防ぐため、青少年インターネット環境整備法において必要な措置を事業者に義務付ける等、国の責任において実効的な対策を講じること。
- SNSやデジタル技術を使った被害から子どもたちを守るために本県が行う対策を支援すること。

青少年健全育成条例改正案

■ 条例改正案のポイント（2月議会に提案） 現行条例を基に解釈明確化等で青少年を守る

- 条例の定義規定において、「賭博」、「児童ポルノ」の定義を明確化し、オンラインカジノや実在する青少年の顔から生成した児童ポルノを含むことを規定
- 青少年の個人としての尊厳が重んぜられることを妨げられないよう、青少年にSNSの適切な利用方法を習得させることを保護者、学校関係者等の努力義務として規定
- AIにより青少年の顔画像を加工して作成された児童の性的画像も規制対象の児童ポルノであると確認的に規定し、その作成・提供を禁止<新設>（県内の青少年の児童ポルノ等を県外で作成・提供することも禁止<新設>）
- オンラインカジノが賭博に当たると確認的に規定し、青少年にオンラインカジノを利用する機会を与える行為を禁止<新設>
- 青少年に、暴行、窃盗、強盗、詐欺などの犯罪を行う機会をインターネットにより与える行為を禁止<新設>
- フィルタリングソフトウェアを利用して閲覧を防止すべき情報の対象に闇バイト、オンラインカジノが含まれることを明確化し、青少年のこうした有害情報の閲覧等を防止
- 青少年が使うスマートフォンの契約を行うとき等に、シグナル・テレグラムなど犯罪の連絡手段として使われることがあるアプリの制限方法の説明を事業者にも義務付け
- 県は、青少年とその保護者からの相談に対応するための体制を整備し、関係者に必要な周知・啓発を行う<新設>

被害の未然防止のため、できることから早急に措置（新設の制限となる規定の罰則は6月議会以降）

鳥取方式短時間勤務の創設(R7年度から)

若手職員による県庁働き方改革緊急対策チームの中間報告を受け、2月議会条例提案へ

中間報告の内容

1月29日、「若者・女性にとって魅力的な地方での職場環境づくり」に向けた中間報告
<条例改正を要する事項>

- 一定の会計年度任用職員について短時間勤務による正職員導入
- 育児・介護に限定しない選択的週休3日制の導入
- 子育て部分休暇の対象年齢拡大
- 在宅勤務日数が多い職員への負担軽減のための手当支給

<その他、継続して議論中>

育休取得者の同僚職員への支援 等



特定の職種の人材確保のため「鳥取方式短時間勤務正職員」を緊急に導入(新条例)

特定の資格を要する職種(看護師、保育士)について、育児等の事情による短時間勤務希望者を対象とした人材確保のための緊急措置として、鳥取方式による短時間勤務正職員の制度を創設
(「働き方支援休暇」を包括的に認め、週30時間勤務を選択できる新たな制度)

勤務時間条例改正

選択的週休3日制 育児・介護職員のみ → 全職員へ (フレックスタイム職員の休憩時間も柔軟化)
子育て部分休暇 小学校3年生まで → 中学校3年生まで (障がいのある子は高校3年生まで)

給与条例改正

在宅勤務手当創設 (月10日超を在宅勤務する場合に支給)

米子台北直行便就航日決定！

2025年5月29日（木）から台湾直行便週2便就航！

台湾からの誘客促進、日本人への台湾情報発信強化で観光・交流の拡大やビジネス等交流の更なる促進へ！

- ・運航開始日：5月29日(木) 13:00米子着-14:00米子発 翌週以降は月・金曜日の週2往復の運航
- ・運航概要：月曜日 12:00米子着-13:00米子発 金曜日 16:50米子着-17:50米子発
- ・運航区間：台湾桃園国際空港-米子鬼太郎空港
- ・使用機材：A320（179人乗り）
- ・運航会社：タイガーエア台湾



5月29日には「2025日台観光サミットin鳥取」開催！
台湾から100名以上の観光関係者が来県し、観光交流が加速！

国際航空路線発展に向けた情報連絡会議(2月4日)

ソウル便増便、台北便就航、香港便の路線活性化等に向けたプロモーション強化や、文化交流、経済交流、教育交流の活発化について、関係部局や関係団体との意見交換を実施（県、国際定期便利用促進協議会、商工会議所、日本旅行業協会鳥取支部）

鳥取砂丘コナン空港 第2期コンセッションの公募開始(2月3日)

民間ノウハウを最大限活用し、さらなる安全・安心にぎわい創出・地域活性化を推進！

【目的】

- 運営権者を公募で選定、安全・安心な空港運営の確保、さらなる空港管理の効率化、利用促進を実現
- ツインポート（鳥取空港・鳥取港）、「空の駅」化の取組を推進地域活性化の拠点として、さらなるにぎわいを創出

【事業期間】令和9年4月から20年間（最長35年間）



<目指すべき今後の方向性> 官民連携によって社会課題の解決・地域活性化を推進し、輝く鳥取を創造して成長する鳥取砂丘コナン空港

➔ 募集要項等の説明会を開催(2月18日)

特定家畜伝染病発生時における 消毒作業等防疫業務に関する協定

県内人材確保により、初動防疫体制をさらに強化

鳥取県農業協同組合中央会・鳥取県農業共済
組合と締結(1/30)

主な協力業務

- ・発生農場における家畜の殺処分、消毒等作業
- ・患畜等補償のための評価業務
- ・相談窓口の設置（風評被害対策を含む）

【高病原性鳥インフルエンザ発生時における防疫業務への協力(令和4年12月)】



森と自然の育ちと学び フォーラム2024

30日 わらべ館

【パネルディスカッション】

自然保育認証制度の10年

～これまでの歩みと今後の展望～

【記念講演】

『関係人口』という新しい提案

～地域づくりと人材育成～

(講師 田中輝美氏)

大会宣言を発表

- ・子どもの豊かな育ち、人口減少対策につながる魅力
- ・国による制度化と無償化拡大の要望

31日 智頭町立旧山形小学校

智頭町「森のようちえん」見学
移住者の座談会、指導者育成研修



など

生物多様性保全協定

30by30達成へ生物多様性保全が図られている『自然共生サイト』を民間・行政が連携して管理・保全する協定を締結(2/3)

<協定締結者>

活動主体

農事組合法人八頭船岡農場

(一社)鳥取県地域教育推進局

支援企業

(株)中井脩、カシオ計算機(株)

行政

八頭町、県

<協定の内容>

令和7年2月3日から5年間

活動概要

「八頭船岡環境保全エリア」

- ・生物に配慮した無農薬農業
- ・休耕田でのビオトープ造成
- ・自然体験イベント 等

○支援企業：田植え等の農作業、生物調査、生きもの観察会等への労力・機材の提供 等

○行政：専門家の派遣やボランティア募集 等



ねんりんピックレガシー継承会議

県民の総力で成し遂げた成功

- 参加者数 延べ540,861人
- 経済波及効果【確定値】131億4,800万円
- ボランティア参加人数 延べ1,862名
- 県選手団の活躍 延べ9名・4チームが優勝
- 初開催eスポーツ、本県発祥バウンスボールが盛況
- 企業協賛 213社（過去開催県の2倍以上）



大会の成功を一過性にせず、次のステージへ

2月3日(月) ねんりんピックレガシー継承会議

県社会福祉協議会、県老人クラブ連合会等が出席

- ねんりんピックとっとり大会開催結果総括
 - レガシー継承に関する関係者との意見交換
- ⇒ 「笑みの花咲くねんりんフェスタ」 地域文化伝承館の継承
「因伯ねんりんピック」 ねんりんピック予選を兼ねて



とっとり若者Uターン・定住戦略本部 第3回会議(2月4日)

○今年度の活動

《高校生までの学生へのアクション》

- ・若者の共感を生むデジタル教材の制作
- ・高校生地域活動等の推進 など

《県外大学生へのアクション》

- ・「暮らすインターンシップ」プログラム開発
- ・学生ライターによる地域・企業の魅力発信 など

《県外進学及び就職者へのアクション》

- ・都市部で緩やかに繋がるネットワーク構築
- ・親、家族へのUターン・定住働きかけ
- ・新成人をターゲットとしたUターン・定住キャンペーン など



若者企画の地域と繋がる
インターンシップ



ウェルカニネットワーク構築
(プランナー・コンシェルジュ任命)



成人式でのUターン・定住
キャンペーン

○新年度の活動強化の方向性を若者・産学官で議論

“若者・女性に選ばれる地域づくり”を更に強力に実行